SAPPORO ATHLETICS ASSOCIATION　通算第１０号（2018年第１号）

JAAF SAPPORO

一般財団法人札幌陸上競技協会

札幌陸協情報

発行：一般財団法人札幌陸上競技協会広報委員会　平成３０年５月３日発行

２０１８年度に向けて

会　長　品　田　吉　博

寒かった雪の季節から解放され、爽やかな春の息吹とともに待ちに待った競技会シーズンが到来いたしました。競技者の皆さんにおかれましては、冬季間に培った練習の成果をいかんなく発揮し、熱戦が繰り広げられる充実した競技会シーズンとなることを期待しております。審判会員の皆様には、各大会において選手たちが最高のパフォーマンスを発揮できるよう研鑽を積まれ、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

今年度は、札幌ドーム人工芝の張替えや９月開催の全国スポーツマスターズ大会（陸上競技は含まれず１３種目の競技が実施）の影響で、競技場使用の調整を心配しておりましたが、札幌市様、各スポーツ競技団体様のご理解のもとに例年通りの開催ができることとなりました。改めて深いご理解とご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。

２０２０東京オリンピックパラリンピック開催も近づき、札幌陸協では昨年より「札幌からオリンピック選手を」を合言葉に選手強化対策のための基金募集を開始いたしました。お陰様を持ちまして、大勢の企業の皆様や個人の皆様からご協賛をいただき、運営を開始することができました。全国大会での優勝や入賞者も多数輩出され、２年後に向けて弾みがついたところであります。これを機会に、指導者、選手の一層の研鑽と競技力向上につながることを願っております。

さて、今年度の南部大会は日中韓三か国対抗大会を兼ねており、８月インドネシアで開催されるアジア競技会の選手選考や代表選手が参加する大会として注目されております。また、６月には全道高校選手権大会も開催され、全国インターハイ出場をかけた高校生たちの熱い戦いが繰り広げられます。そして、１０月には豊平川河川敷を舞台に全道高校駅伝大会が開催され、昨年全国７位の悲願の入賞を果たした山の手高校の活躍が楽しみでもあります。

５月から９月末日まで、ほぼ毎週末に開催される４０を超える大会を迎えるにあたり、会員の皆様におかれましては、健康面と体調にご留意されながら協会運営にご協力ご支援賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、当協会の運営に当たり、ご支援ご協力をいただいております多くのご協賛各社の皆様や関係団体の皆様方に心より感謝申し上げご挨拶といたします。

一般財団法人札幌陸上競技協会　２０１７年度　事業活動総括

２０１７年度を振り返って

専務理事　玉　井　清　史

1　専務理事反省

第３回理事会において専務理事を仰せつかりました。私としては責任が重く、不安ばかりでありますが品田会長や前志田専務（現副会長）の指導の元、中村副専務や各理事のご協力を得て事業を進めてまいりました。財務委員長が決まらず、今日まで兼務となってしまったことをはじめ、私の力不足によるものと反省しております。

３月から北海道マラソンの道陸協事業費削減の件で時間と労力を使ってしまいました。結果的に事業費1,200,000円で実施することとなりましたが、審判旅費や前日宿泊の削減などで、審判員各位や事務局の皆さんにご苦労をおかけいたしました。特に総務員になられた審判員は５時集合とのことで、市立大通高校の駐車場に４時半頃に集合されていました。それぞれ家を出られたのは４時前で異常といってもいいとおいます。皆様にご苦労をおかけしたことをお詫びいたします。

今年度からの新規事業として「選手育成基金」を創設し、トップ選手の強化をはかることとしました。品田会長、志田副会長を中心に、募金のための企業訪問や協力依頼に尽力していただき、資料にあるような成果を上げていただきました。

この事業は東京オリンピックへ向けての取り組みですから、後３年間継続されることになります。今後とも皆様のご協力をお願いするところです。今年度、私は目前の仕事に追われ計画的な視点を持って運営ができませんでした。今後は年間の見通しを持って業務に当たりたいと思います。

2　「選手強化育成基金」について

今年度から、品田会長・志田副会長を中心に「選手強化育成基金」実行委員会を立ちあげ、基金の募金と運用が始まりました。１０月末で２０企業、１１個人から１７７万円を超える募金が集まり、今年度指定された男子６名女子１３名（リレーを含む）に、「強化育成基金」の助成がされました。今後とも選手強化育成に資する事業になりますよう、発掘・強化と「基金」の拡大に会員諸氏の応援をお願いします。

3　来年度の競技日程について

来年度、札幌陸協の主催事業のほか、1)北海道高等学校陸上競技選手権大会、2)南部忠平記念陸上競技大会兼三カ国交流陸上競技大会、3)北海道マラソン大会が予定されていますが、札幌市スポーツ局から札幌ドーム芝張り替えのため、５月～７月のコンサドーレのリーグ戦を厚別で実施しなければならないとの連絡がありました。また、９月には全国マスターズ大会で円山・厚別ともに使用できない期間があり１月の競技場使用調整会議に向け少なからず影響を受けます。市スポーツ局には今年度並みの使用を申し入れ、併せて厚別以外ではできない競技会を伝えてあります。

4　中体連、高体連に所属しない選手の登録について。

現在の規定（細則）では２重登録規定はあるが、中体連、高体連に所属しない中学生・高校生の個人登録の規定はない（規定に当てはめれば一般登録）。現状は２重登録者として登録しているが、２重登録料１００円のみの支払いとなっており問題がある。道陸協もジュニア登録料１，１００円のを設定した。新年度から細則を変更して、中学個人登録者、高校個人登録者のジュニアクラブを新設し、個人登録登録料を２，０００円とします。

5　強化事業と大会結果

選手、各チームの指導者の努力、強化委員会による強化合宿、強化練習会により今年も輝かしい結果を多く残されています。

日本選手権での福島千里さん（100m２位,200m５位）島田雪菜さん（200m７位）小南拓人君（やり投４位）をはじめ、小学生交流大会で６年で100m工藤翔大君６位、女子４×100mR（ﾄﾝﾃﾞﾝRC４位）、ｲﾝﾀｰﾊｲでは田邊ジョー君（400mH３位）、臼井文音さん（100m２位）、井越朱梨さん（200m５位）、吉田梨緒さん（走幅跳３位）、恵庭北（女子４×100mR３位）全国高校選抜大会で石田光輝君（2000mSC優勝）、田邊ジョー君(300mH４位)臼井文音さん(300m７位）学連でも全日本個人選手権で小南君(やり投２位)、小池祐貴君(200m５位)、学生対抗戦では小池君（200m優勝)、小南君（やり投優勝）青柳唯さん（棒高跳５位）などの好成績を収めました、国体で小南君がやり投で優勝、少年女子で御家瀬緑さんが100mで大会新記録、走幅跳の２冠を達成、100mの臼井さん、走幅跳の吉田さんも入賞するなど大活躍、年末の高校駅伝大会で山の手高校が７位入賞と年末まで興奮する１年間でした。

２０１７年度 総務委員会報告

１　会議報告　：　別　添（資料札幌陸協保管）
２　２０１７年度登録会員数　：　別　添（資料札幌陸協保管）
３　各種大会役員派遣報告
⑴　第５１回青梅マラソン
①派遣日時　２０１７年２月１８日（土）～２０日（月）
②大会日時　２０１７年２月１９日（日）
③派遣団
団　長　平野　伸也
選　手　寺崎　智子　女子１０ｋｍ（５０歳代）４０分２６秒（３位）
髙橋　朋恵　女子３０ｋｍ（４０歳代）２時間１１分２５秒（７位）
筧　　善朗　男子３０ｋｍ（４０歳未満）１時間４７分２３秒（４２位）
随行者　札幌健康スポーツ財団３名（有馬職員、菅原職員）
視察者　札幌陸上競技協会３名（蓑島副会長、志田幸専務理事、志田光常務理事）

⑵　第１７回全国障がい者スポーツ大会（愛顔つなぐえひめ大会）
①派遣日時　２０１７年１０月２６日（木）～１０月３１日（火）
②大会日時　２０１７年１０月２８日（土）～１０月３０日（月）
③会　　場　愛媛県総合運動公園陸上競技場（ニンジニアスタジアム）
④派遣役員（陸上コーチ）　早崎　　勝、川上　重子

⑶　グアム・ココ・ロードレース大会
①派遣日時　２０１７年１０月２７日（金）～３０日（月）
②大会日時　２０１７年１０月２９日（日）午前４時スタート
③派遣団　選手団長　安岡　行雄
選手　斉藤　敏美（清里町）1時間31分28秒（男子グランド・マスター　第1位）
川村　　綾（チーム凡人）1時間40分00秒（女子オープン　第2位）

４　審判員傷害保険
※２０１７年度加入者数　１６名（補償申請者　１名）

５　トレーナ活動
トレーナー要員の業務内容の理解とさっぽろ健康スポーツ財団のニーズにこたえるために、トレーナ要員のプロ化を図った。（一人複数回 / 月を可能とした。）

６　2017年度　会議報告
⑴　常務理事会
○第１回常務理事会
２０１７年3月２８日（火）１８時３０分～札幌市中島体育センター１階Ｂ会議室
○第２回常務理事会
２０１７年１１月１日（水）１８時３０分～札幌市中島体育センター１階多目的室
○第３回常務理事会・栄章委員会
２０１７年１２月１５日（金）１８時３０分～札幌市中島体育センター１階多目的室

⑵　会計監査
○中間監査
２０１７年１０月２４日（火）１８時３０分～札幌市中島体育センター1階Ｂ会議室

⑶　理事会
○第１回理事会
２０１７年2月１０日（金）１８時３０分～　札幌市中島体育センター２階講堂
報告事項
①２０１６年度事業活動報告　　②その他
協議事項
第１号議案　２０１６年度収支決算書、監査報告
第２号議案　２０１７年度事業計画（案）
第３号議案　２０１７年度収支予算（案）
第４号議案　２０１７・２０１８年度役員選考について

○第２回理事会
２０１７年３月５日（日）１３時００分～札幌市中島体育センター１階多目的室
報告事項
①青梅マラソン大会役員派遣報告　②２０１７年度方針について
③北海道陸協関係報告　④その他
協議事項
第１号議案　２０１７年度・２０１８年度役員提案
第２号議案　専務理事選出について
第３号議案　常務理事について提案
第４号議案　事業担務について提案
第５号議案　SAPPORO「選手強化育成基金」募金について
第６号議案　道路競技の担務責任者について
第７号議案　トレーナー活動について
第８号議案　経費節約について
第９号議案　厚別競技場使用大会に飲食品、物品の提供依頼について
第10号議案　今後の会議日程の決定について
第11号議案　理事会、競技会の出席について
第12号議案　各理事からの検討内容

○第３回臨時理事会
２０１７年３月１６日（金）１８時３０分～札幌市中島体育センター1階多目的室
報告事項
①SAPPORO「選手強化育成基金」募金について　②記念誌編集について
③その他
協議事項
第１号議案　定款の変更について
第２号議案　「第１号議案」の細部
第３号議案　専務理事及び常務理事の選出について
第４号議案　「一般財団法人札幌陸上競技協会規約細則」第２条
第５条議案　競技会担務について

○第４回理事会
２０１７年１１月８日（水）１８時３０分～札幌市中島体育センター2階講堂
報告事項
①各専門委員会報告　②各競技会報告　③その他
協議事項
第１号議案　中間監査報告
第２号議案　大会派遣役員について
第３号議案　次年度主管大会の検討
第４号議案　SAPPORO「選手強化育成基金」の現状と今後の方向
第５号議案　９０周年記念事業について
第６号議案　中体連及び二重登録者について
第７号議案　北海道学生陸上競技連盟登録者の札幌陸協への協力金の支払いについて
第８号議案　役員人事（財務委員長と専務理事の兼務）について

⑷　評議員会

○第１回評議員会
２０１７年３月５日（日）１１時００分～　札幌市中島体育センター１階多目的室
協議事項
第１号議案　２０１７年度事業計画（案）
第２号議案　２０１７年度収支予算（案）
第３号議案　２０１７年度・２０１８年度役員について（案）
報告事項

２０１７年度 競技委員会報告

1　陸上競技理論の研究

2　研修会、講習会の開催指導

昨シーズン、札幌選手権で厚別競技場でバックストレートフィニッシュで競技を行った。スタート器材を新たに購入していただいたことで、既存機材を移動せずあらかじめ設置することができた。しかし、カメラの設置場所については課題があり、昨年度同様、施設の改善を求めたい。またこれに伴い、誰でも準備と操作できるようにしなければ定着しない。

大会によって各種装置、情報処理機器の準備と操作を伴う審判員が十分確保されていない場合、大会総務をはじめ、審判員の多くがきちんと理解し、操作できるようにしなければならない。毎回同じ審判業務に当たるのではなく、別な審判業務を経験することで、大会事に不足する場所に人員を配置し、柔軟な審判編成を組むことができるようにしておくことも必要である。

少子高齢の時代に伴い審判員が高齢化しており、昨シーズン頃から各種大会の審判編成で各部署に最低必要数の審判を編成することができなくなってきている。今後はますます加速し、大会運営に支障が出てくる可能性も予想されるため、高卒や大学生の新たな審判登録を　積極的に実施していくことが求められる。日程過密の中で時間をとることは容易ではないが審判委員会と連携しながら、部署事の講習会などを実施検討する必要がある。

3　競技日程の編成、各競技会実施要項の作成及び周知

予定通り大会を開催することができた。ただし、大会によっては、審判員の不足、事前準備の不足があり、運営が危ぶまれたものもあった。上記のとおり、各審判部署の引き継ぎが懸念される。

前高橋競技委員長から引き継いだためスムーズに業務をすることができなく大変ご面倒をかけた部分があった。この場をお借りしてお詫び申しあげたい。

実施要項を札幌陸協ホームページに掲載し、情報発信、要項をダウンロードしていただく形や、アスリートランキングでの申込は定着した。情報委員会、担当業者のアジプロ、北海道印刷企画には、速やかな対応を含め、感謝申し上げる。

4　北海道陸上競技協会競技委員会及び北海道学生競技連盟との連絡提携

国体、北海道選手選考会、北海道マラソン、全道新人を担当した。次年度は全道高校、全道高校駅伝、南部陸上（三カ国対抗）等の大会が控えている。運営の在り方、審判編成、予算面、それぞれに課題があった。北海道陸協との連携について、より一層密にするとともに、札幌陸協の意見を引き続き提出し、よりよい運営ができるようにしなければならない。

5　大会および記録会等の会場調整について

ご承知のとおり、平成２０１８年度については札幌ドームの改修工事（芝の張り替え）があることにより、サッカーの試合を含めるスポーツ競技団体の厚別および円山の調整会議をした結果、一部日程の移動はあるものの、概ね予定どおりの会場で実施予定となった。しかし、例年札幌記録会については第６戦まで企画運営していたが、２０１８年度については　競技場の調整がつかないことから、札幌記録会は第４戦までとなることをご理解いただきたい。また、この関連において札幌選手権大会の実施日も例年より繰り上がっている。

２０１９年度以降についてもラグビーワールドカップ、２０２０東京オリンピックがあり、大会予定日ならびに実施会場（厚別・円山）２会場については、２０１８年度以上に厳しくなることが予想されることをご理解いただきたい。

6　その他（会員からの意見として）

⑴　札幌記録会への参加は今年度も多くあり、ニーズもある。ただ、すべての要望に応えることは不可能である。ニーズに応えつつ、また、会計面（赤字決算防止）を考慮に入れ、午前９時前後に始まり、午後５時前後には終わるよう、実施種目を検討する。

⑵　「主催大会（記録会を含め）の担務者によって、運営の仕方が違い、戸惑うことがある」という声が、ここ数年、度々聞こえてくる。小学、中学、高校、大学、一般、それぞれのカテゴリー間（担当者間）の一層の連携が必要である。

２０１７年度 審判委員会報告

Ⅰ 活動報告

○審判研修

１ 北海道陸上競技協会伝達講習会受講
３月12日 出席； 玉井、小川、岩間

２ 札幌陸協審判講習会
４月22日 円山競技場 規則改正、諸問題について 参加者数 120名

３ 札幌陸協審判研修会
４月22日 円山競技場役員室 参加者数 20名
ｱｽﾘｰﾄﾗﾝｷﾝｸﾞでのﾌｨｰﾙﾄﾞ記録入力講習

４ 学連審判講習会への支援
７月22日 円山競技場 学連トラック競技会終了後
規則改正についての講習会への講師派遣（小川）

○競技会審判について

１ 審判希望調査 （回収数・率）
前期希望調査 ３月30日締切（172 ． 64%）
中期希望調査 ６月７日締切（173 ． 64%）
後期希望調査 ８月４日締切（164 ． 61%）

２ 審判用品の斡旋
手帳更新など随時注文を受けている

３ 審判昇格手続き 2018年度 Ａ級１名 高校Ｂ級１０名 申請済み

Ⅱ 今後の活動計画と要望

１ 来年度に向けた審判研修のあり方を検討
２ 中高陸上競技部顧問で審判未登録者への審判登録促進
３ 審判業務の長期にわたる不参加会員の所在確認

【 ２０１７年度昇格された方々】

〔Ｓ 級〕 中村冨士雄、 佐良土茂子、 新井田 守

〔Ａ 級〕 世良田弘治、 赤松 幸広、 藤村 勝江

〔高校Ｂ級〕 札幌大谷高校
近藤 佑斗、能勢 桃佳、小松 奈央、道関 史帆 本田 萌華
札幌国際情報高校
片原 優作

２０１７年度 記録委員会報告

1 本年度業務の遂行について

（１）記録委員会
①全道記録申請事務講習会報告
②本年度事業計画の確認と具体的な取り組み
③業務分担
④10傑表作成のための記録集計方針等の確認

2 競技会記録の調査・収集保管，情報提供

（１）各大会の大会記録等の調査，変更手続き

（２）各大会の決勝記録一覧表の報道機関への提供

（３）栄章選考委員会に優秀選手等の選考資料を提出
（４）10傑記録表の作成
（５）札幌記録表の訂正・HP掲載
（６）本年度樹立された札幌記録等の常務理事会報告

３　競技会記録の公認申請
（１）４月　競技会記録公認申請事務開始（日本陸連DBへ　すべて電子申請）
（２）申請・報告件数
①公認申請件数　22
主管大会　3
主催大会　19
②道陸協へ報告した件数
主管大会　3
小学生大会　2
（３）３月　道記録公認申請事務講習会への参加

２０１７年度　強化委員会報告

１　合　宿

高校

①　１月　６日（金）～１２日（木）	道外合宿 那覇市　コーチ６名　選手１９名
②　３月１７日（金）～２８日（火）	中長距離道外合宿（男子） 長野、東京　コーチ１名　選手９名
③　３月２５日（土）～２９日（水）	中長距離合宿（女子） 室蘭市　コーチ１名　選手３名
④１１月１５日（水）～１８日（土）	U19北海道地区合宿 札幌市　つどーむ　など コーチ１　選手２８名

中学

①　３月２７日（日）～２９日（火）	函館市 コーチ　８名　選手　２１名
②　１０月９日（月）（駅伝試走）	新得町 コーチ　２名　選手　１５名

２　中学練習会

種目	日時	場所	選手数
短距離	1月7日	つどーむ	40
	1月21日	つどーむ	40
	1月28日	前田中	80
	2月11日	アリーナ	50
	2月26日	前田中	80
	8月9日	厚別	60
	11月19日	前田中	80
	12月10日	真駒内曙中	60
	12月16日	つどーむ	120
	12月23日	前田中	80
跳躍	1月28日	前田中	20
	2月26日	前田中	30
	8月9日	厚別	40
	11月19日	前田中	15
	12月10日	真駒内曙中	15
	12月16日	東栄中	10
	12月23日	前田中	15

種目	日時	場所	選手数
投擲	1月27日	前田中	10
	2月26日	きたえーる	15
	8月9日	厚別	10
	11月19日	前田中	10
	12月10日	真駒内曙中	10
	12月23日	真栄中	10

中長距離

	期日	会場	対象	選手数	備考
1	1月8日	つどーむ	中	100	
2	1月12日	アイスアリーナ	中	122	
3	1月21日	アイスアリーナ	中	134	
4	1月28日	つどーむ	中	110	
5	1月29日	北の沢トンネル	小中高大一	64	北の沢トンネルラン
6	2月4日	アイスアリーナ	中	80	
7	2月11日	アイスアリーナ	中	20	
8	2月18日	滝野すずらん公園	小中	200	滝野ウィンターラン
9	2月25日	西岡北中	中	32	クロカンスキー
10	3月5日	つどーむ	中	98	
11	3月11日	アイスアリーナ	中	76	
12	4月8日	つどーむ	中	90	
13	4月22日	真駒内公園	小中高	96	駅伝練習会
14	5月19日	円山	中	35	
15	6月3日	真駒内桜山	中	17	
16	8月9日	厚別	中	459	全種目実施
17	9月16日	真駒内公園	中	301	札幌中学駅伝
18	11月3日	厚別	中	304	秋季練習会
19	11月5日	フッズ	小中高大一	70	フッズヒルクライム
20	11月18日	つどーむ	中	170	
21	12月9日	つどーむ	中	200	
22	12月16日	アイスアリーナ	中	170	
23	12月23日	アイスアリーナ	中	120	
24	12月30日	アイスアリーナ	中	90	

全体練習会

	期日	会場	対象	選手数	備考
1	3月18日	つどーむ	小中高	401	室内クリニック
2	7月17日	円山	中	200	全道出場者対象

２０１７年度　普及委員会報告

①室内陸上クリニック（3月18日：つどーむ）
②駅伝練習会（4月21日：真駒内）
③ 小学陸上大会兼中学記録会（6月10日：円山）　第1回普及委員会
　小学生…個人347名、リレー42チーム　中学生…個人　24名、リレー28チーム
④ 全道小学大会出場者合同練習会（7月2日：円山）
⑤ 南部忠平陸上札幌選抜リレー練習会（7月8日：厚別）
⑥ 南部忠平陸上（7月9日：厚別）
　小学男子リレー優勝、女子リレー準優勝　中学男子リレー優勝、女子リレー準優勝
⑦ 全道小学生大会（7月16、17日：室蘭）
　男子52名、女子63名出場、審判員3名、役員2名派遣
　優勝：男子個人１、リレー１、女子個人４、リレー１
　２位：男子個人３、　　女子個人６、リレー１
　３位：男子個人４、リレー１、女子個人６、リレー１

⑧ 小学陸上教室兼中学記録会（8月5日：円山）
小学生男女123名参加、中学生リレー8チーム参加
⑨ 全国小学交流大会（8月19日：日産スタジアム）
女子４×１００mR とんでんRC 4位入賞（53.29）
⑩ JAAFジュニアコーチ講習会参加（9月8日～10日：函館）
参加者：強化コーチ：井上智雄、氏家大輔、佐藤圭祐、遊佐健太郎、成澤希依
田中勇心
普 及 委 員：今井里砂
ｸﾗﾌﾞコーチ：本間史恵、村上沙也加、坂本訓子
⑪ 札幌中学駅伝（9月16日：真駒内）
男女366名参加
⑫ 川崎記念陸上（10月7日：厚別）
男子263名、女子231名参加 第2回普及委員会
⑬ 市民大会（10月8日：円山）
個人206名、リレー130チーム
⑭ 北海道中学駅伝大会
男子二部 優勝、女子二部 準優勝
⑮ 北海道ちびっこ駅伝大会
札幌AC 優勝⇒全国クロスカントリー研修大会北海道代表権獲得⇒10位
第3回普及委員会（年度反省・次年度計画）

２０１７年度 施設委員会報告

1 ロード競技点検
① 日刊スポーツ豊平側マラソン
４月２６日 コース点検
１１月１７日 2018年度コース変更に伴う計測
② 北海道マラソン、車いすマラソンコース点検
７月１５日
③ 札幌マラソンコース点検
９月１８日

2 競技場長距離ゼッケン、腰ナンバーカード点検補充
４月

3 札幌市ｽﾎﾟｰﾂ局施設部に要望書を提出、内容は以下の通り。(11月7日)
○厚別競技場改善要望
（１）ネットワーク機器の設置（インターネット回線、LAN接続機器を設置するための機器〈ルータ、HUB、Wi-Fi配線等〉）
（２）バックストレートゴール写真判定装置の固定設置
厚別競技場は国内唯一の公認バックストレートゴールを持つ競技場です。
競技中の選手や審判員が接触しカメラの故障、破損が懸念を防ぐためカメラの固定装置を検討いただきたい。できればスタンド固定が望ましいと思われます。
（３）跳躍ピットの簡易延長助走路更新
簡易延長助走路は一個一個が小さく、助走で移動したり、高さが変化したりするので、近年の競技会では円山競技場から借用している。重たいうえ輸送費が数万円（トラックレンタル代）る。円山にある簡易助走路６～９台を厚別に置くことはできないか。
（４）ハードルの補充（20台）
補助競技場に設置するハードルは競技場で使用するハードルと同様の公認用ハードルが原則です。南部大会など日本陸連主催，後援大会では円山から借用しています。現規格のハードル２０台は必要。

○円山競技場改善要望
（１）ネットワーク機器の設置（インターネット回線、LAN接続機器を設置するための機器〈ルータ、HUB、Wi-Fi配線等〉）
（２）駐車場施設について
タクシーの旋回場所の指定。競技場前のスペースが練習場となるため、危険である。陸上競技場正面や、野球場正面までの乗り入れは禁止できないか。

札幌市から回答のあったもの
- 厚別の延長助走路については、円山の助走路を厚別に管理替え可能である。
- バックストレートのカメラについては、スタンドに設置可能か検討する。
- Wi-Fi については検討中である。

2017年度 情報委員会報告

大会（記録会）全般に関して
・総務の任務をよく知らない（何をいつまでにしなければならないか）
・審判編成が大変
・フィールド記録用紙は、ARで出力するもので良い。
・失格ＤＱなどを記録に伝えてほしい。できれば文書で。

1　ARでの大会運営に関して
バージョン３に移行（画面が変わる）→情報委員会内でも研修が必要
・タブレットPCを使用して、迅速化、効率化を図る。

2　小学生陸上教室（８月）
・ＡＲで運営

3　学連のすべての大会、記録会、すべての大会をＡＲで

4・ＡＢ決勝に関して
A決勝は１～８位決定戦、B決勝は９～16位決定戦である。A決勝の後にB決勝が行われ、Bの結果に関わらず入賞者はA決勝から選ばれる（A決勝で欠場者がいても、B決勝から選ばれることはない）。ARでもこの仕様である。
札幌のAB決勝はBA決勝として、B決勝からでも入賞者がでる仕組みである。これは通常のAB決勝とはことなるため、通常の方法で行うべきである。

5　ハイテク杯に関して
・種目、時期の検討

6　審判編成に関して
医務員が不足している。
写真判定員、スターター、情報処理員（競技者係）、科学計測（光波）など、機器を扱える（設置できる人）を各大会・記録会に配置するべき。

7　タブレットPCの使用に関して
・iPadがよい。
審判長、アナウンサー、競技者係、フィールド審判員（入力）に使用できる。
・用紙を節約できる。
・競技者係、記録からの”流し用紙”が必要ない
・現地入力することで、ミスが少なくなる。リアルタイムでアナウンサーが見ることができる。
・競技終了後、表彰までの時間を短縮できる。
・競技者係もタブレットを持つことで、“DNS”をその場でも入れることができる。
・リレーのオーダーはPCの方がよい。

8　腰ナンバーカード
８月の中学選手権で採用した。中体連、高体連は腰ナンバーの管理者がいるので、問題はないが、小学生の大会のときに、腰ナンバーはなく、慌てることがあった。円山と厚別にそれぞれ保管してあるが、無視して（よく探さずに）一方から運んできて、返さないのが問題と思われる。

9　賞状・記録証
記録証もARに来往するべきである。また、記録証もＡ４タテでプリントアウトできるものにした方が良い。

10　インターネット環境
競技場内にフレーWifiを充実させるべきである。

11　大型映像装置
・効果的な運用に関して視察を行った。
・視察の成果を研修会等で行う。

12　トランスミッター（ミニ放送局）
厚別では大音量でアナウンスできない。また、競技役員の部屋にはアナウンスが入らない（業務に支障を来すため）。トランスミッターを使用して、電波を出し、ラジオで受信できれば、音量を自由に変更できるので、便利である。通常のトランスミッターの出力範囲は１０ｍ程度だが、高出力タイプもある（電波法に違反しない範囲で）。それを使えば便利だと考える。観客もラジオが受信できれば、アナウンスを明瞭に聞くことができる。

13　タブレット使用に関して
スマートフォンなどが普及して、タブレットの使用も多くなっている。
陸上競技でもタブレットを使用して、結果の入力、表示を行うことが一般的になってきた。

Ａ・タブレットの必要数

	役職	円山	厚別		備考
1	審判長	2	2	リザルトの確認	紙を止める
2	総務	2	2	〃	〃
3	競技者	3	3	欠場、オーダーの入力	〃
4	出発	4	4	競技者の確認	〃
5	フィールド	4	4	現地入力	紙と並行
6	アナウンサー	3	3		

Ｂ　タブレットの機種
タブレットはいくつかのOSで作動するものが販売されているが、アップル社の「iPad」がよい。アスリートランキング（AR）は、インターネットに接続できる環境があれば機種（OS）に関わらず
使用可能である。

	名称（会社）	OS	ブラウザー	開発
1	iPad（アップル）	iOS	Safari	Apple
2	Android（各社）	Android	Chrome	Google
3	Windows（各社PC）	Windows	Edge（IE）	Microsoft

操作性の観点から、iPadがよい。iPhoneと同じ操作なので難しくない。iPhoneを所有している方が多い為である。

14　パソコン、プリンタの更新
パソコンも古くなってきていて、更新しなくてはならない。特にWindowsXPのパソコンには廃棄し、Windows７以降のパソコンにすべきである。ARも新しくなり、WindowsXPにこだわる必要がなくなったこともある。
プリンタも更新する必要もある。プリンタはトナーの関係もあり、同じ機種でそろえるべきである。また、Wifi環境もあり、タブレットからでもプリントアウトできるようにすべきである。

１５　今季のアカウント数

	期日	競技会名	アカウント数	会場
1	2017/3/19	室内陸上	2,051	つどーむ
2	2017/4/29	札幌中学記録会	1,765	札幌厚別
3	2017/5/3	札幌記録会１	1,883	札幌円山
4	2017/5/4	札幌記録会２	1,730	札幌円山
5	2017/5/12-14	北海道インカレ	928	札幌厚別
6	2017/5/13-14	第30回　高体連春季	2,393	札幌円山
7	2017/5/20-21	第46回　春季札幌中学	3,036	札幌円山
8	2017/5/23-26	第70回　高体連支部	4,873	札幌厚別
9	2017/6/10	第33回　小学陸上	1,056	札幌円山
10	2017/6/18	札幌記録会３	1,349	札幌円山
11	2017/6/24-25	第63回　通信陸上札幌	1,332	札幌厚別
12	2017/7/1-2	第70回　中体連	2,683	札幌円山
13	2017/7/9	第30回 南部大会	690	札幌厚別
14	2017/7/23	札幌記録会４	1,621	札幌円山
15	2017/8/2-3	第５回　札幌中学選手権	3,231	札幌円山

16	2017/8/5	陸上教室	232	札幌円山
17	2017/8/19-20	第49回　高体連新人戦	2,651	札幌厚別
18	2017/8/26-27	第46回　中体連新人戦	2,685	札幌円山
19	2017/9/10	ハイテクAC杯	745	札幌厚別
20	2017/9/13-15	第33回　北海道高校新人戦	3,280	札幌厚別
21	2017/9/16-17	北海道学生CH	185	札幌円山
22	2017/9/23-24	第82回　札幌選手権	2,572	札幌厚別
23	2017/10/7	第28回　川崎記念	1,168	札幌厚別
24	2017/10/8	第58回　札幌市民体育大会	760	札幌円山
		計	44,899	

今季、アカウントは余った。最後の市民大会は記録会だったものが変更になっており、記録会が１回減っている。来季も６万アカウントで契約をするべきである。

２０１７年度　広報委員会報告

１　ホームページ管理（１／９現在の閲覧数　１５６７９１２）昨年度より+192,861
（１）ホームページの小変更（画像）
（２）ホームページの更新作業
（３）ホームページのデータ整理（過去データ削除）

２　広報発行
（１）第１号（２０１７年４月２２日発行）通算第８号
（２）第２号（２０１７年１１月２６日発行）通算第９号

３　報道機関との連携
（１）新聞・雑誌等への情報提供及び掲載依頼

４　他の陸上競技団体との連携（情報交換）
（１）公益財団法人日本陸上競技連盟事務局

２０１７年度　財務委員会報告

１　２０１７年度収支決算及び監査報告（別添　資料札幌陸協保管）
※会計関係資料は、札幌陸協事務所にて情報開示しております。

２０１７年　札幌陸協・北海道陸協　表彰

１　北海道陸上競技協会関係（札幌陸協から推薦分）
１）審判功績章
大脇　徳芳・赤松　幸広

２　札幌陸上競技協会関係
１）功労章
田川　芳紀・白井　紘一・本川　正明・西巻　秀仁・鈴木　伸和
２）審判功績章
廣瀬恵理子・小林　孝和・関口　明美・富永　裕一・山内　俊浩
山下真由美・島　敏昭・竹田　安宏・道浦　陽子・谷　知樹
３）指導者章
小学校　該当者なし
中学校　氏家　大輔（あいの里東中学校）
高　校　高橋　巧（手稲高校）
４）優秀選手章、奨励選手章、札幌記録章
５）最優秀選手章…選考された優秀選手の中から１名を選出する。
小南　拓人（国士館大）

２０１７年度　札幌陸上競技協会　優秀選手

■男子

氏名	所属	全国大会等での活躍	種目	記録	参考
小池　祐貴	慶応大(4)	86.日本学生対校 2017日本学生個人	男子200m 男子200m	1位　20.58 5位　21.08	
水野　龍彦	札幌国際大(M2)	86.日本学生対校	男子400mH	6位　51.19	
小南　拓人	国士舘大(4)	101.日本選手権 72.国民体育大会 86.日本学生対校 2017日本学生個人	男子やり投 成年やり投 やり投 やり投	4位　75m10 1位　77m94 1位　78m53 1位　79m17	
伊藤　佑樹	Team IRE	100.日本選手権競歩 〃 〃	男子10kmW 男子15kmW 男子20kmW	41.39. 1.03.45. 1.27.53.	
尾上　雄基	Team IRE	100.日本選手権競歩 〃 〃	男子10kmW 男子15kmW 男子20kmW	42.37. 1.06.23. 1.27.53.	
村尾　宥稀	明治大	56.全日本競歩輪島大会	男子10kmW	43.03.	
田邉　ジョー	立命館慶祥高(3)	70.全国高校	400mH	3位　52.41	予51.92
ﾛｰﾚﾝｽ　ｸﾞﾚ	札幌山の手高(3)	札幌記録会第2戦	3000m	8.11.09	札幌高校国際
石田　光輝	札幌山の手高(3)	ディスタンストライアル1戦 70.全国高校	3000m 3000m.S.C	8.17.34 9.00.13	札幌高校最高
宇野　幸希 熊田　龍乃介	札幌南高(3) 札幌南高(2)	道学連競技会第1戦 道学連競技会第1戦	10000mW 10000mW	46.26.31 47.03.63	札幌高校最高 札幌高校最高
金橋　佳佑 石田　光輝 ﾛｰﾚﾝｽ　ｸﾞﾚ 宮内　明人 多田　奏太 勝浦小太郎 松尾　　陸	札幌山の手高	68.全国高校駅伝	駅伝	2.05.25.	北海道勢過去最高順位

■女子

氏名	所属	全国大会等での活躍	種目	記録	参考
福島　千里	札幌陸協	30.南部忠平記念 101.日本選手権 Pomona Pitzer T&F 101.日本選手権	100m 100m 200m 200m	11.36(1.3) 11.58(0.2) 23.60(-1.0) 24.01(-0.2)	
島田　雪菜	道ハイテクA.C	101.日本選手権 90.北海道選手権	200m 200m	24.38(-0.2) 23.97(2.0)	
京谷　萌子	道ハイテクA.C	72.国民体育大会	走高跳	1m73	
青柳　　唯	鹿屋体大 (M2)	86.日本学生対校	棒高跳	5位　3m80	
井越　朱梨	恵庭北高(3)	30.南部忠平記念 90.北海道選手権 70.全国高校	100m 200m 200m	11.79(1.3) 24.02(2.0) 24.56(-0.3)	
御家瀬　　緑	恵庭北高(1)	72.国民体育大会	少年B100m 少年B走幅跳	11.83(-1.0) 6m00(-0.8)	
臼井　文音	立命館慶祥高(2)	70.全国高校 72.国民体育大会	100m 少年A100m	12.06(-3.0) 12.19(-1.1)	
玉置　菜々子	札幌啓成高(2)	49.札幌支部新人 70.札幌支部予選	100mH 三段跳	13.73(1.4) 11m30(0.3)	
吉田　梨緒	立命館慶祥高(2)	33.道高校新人 72.国民体育大会 70.全国高校	走幅跳 少年A走幅跳 走幅跳	5m97(0.8) 5m92(-0.2) 6m06(2.5)	
村岡　柊有 御家瀬　緑 井越　朱里 町井　愛海	恵庭北高	70.全国高校	4×100mR	3位　45.94	日本ユース記録
大村　由莉香	岩手大学	70.東北学生対校	10000mW	52.55.78	
藤野　莉紗	Team　IRE	90.北海道選手権	10000mW	53.27.24	

2017年度　札幌陸上競技協会　奨励選手

■男子

氏　名	所　属	全国大会等での活躍	種目	順位	記録
井澤　真	白石中(3)	48.北海道中学	100m	3位	11.31(-0.4)
			110mH	1位	14.53(+0.3)
竹内　充吾	清田中(3)	48.北海道中学	200m	3位	22.61(+1.9)
城　北斗	向陵中(3)	48.北海道中学	400m	2位	51.78
西元寺遼介	柏中(3)	48.北海道中学	400m	3位	51.99
小笹　陽輝	向陵中(3)	48.北海道中学	1500m	1位	4.06.92
竹本　修	平岡中(3)	48.北海道中学	110mH	2位	15.14(+0.3)
北川　広大	北都中(2)	24.道中学新人	110mH	2位	15.46(-0.8)
中島　凌	信濃中(2)	48.北海道中学	走高跳	2位	1m85
		24.道中学新人	走高跳	1位	1m77
高田真太郎	北都中(2)	24.道中学新人	走幅跳	1位	6m19(+1.8)
廣田　風吾	あいの里東中(2)	24.道中学新人	砲丸投	2位	11m09
川岡　士真	屯田北中(3)	48.北海道中学	四種競技	3位	2372点
清田中	菊地・竹内・田口・近藤	48.北海道中学	4×100mR	2位	44.23
北都中	佐井・高田・北川・高松	24.道中学新人	4×100mR	2位	46.47
西岡中	田口・山田・竹田・秋森	24.道中学新人	4×100mR	3位	47.21
竹田　龍一	渡辺陸上ク	35.北海道小学生	6年100m	3位	13.02(-0.3)
		35.北海道小学生	6年走幅跳	3位	4m67 (1.3)
森江　渚早	新札幌陸ク	35.北海道小学生	4年100m	1位	14.42(1.2)
河津　巧	TONDEN.RC	35.北海道小学生	4年100m	3位	14.55(1.3)
		28.川崎記念	4年800m	1位	2.25.48
奥田　橙	TONDEN.RC	35.北海道小学生	3年100m	3位	15.11(0.5)
		35.北海道小学生	3年800m	2位	2.38.87
槇　航太郎	福住小	35.北海道小学生	6年1500m	2位	4.50.69
斉藤凛太朗	SJAC	35.北海道小学生	6年走高跳	3位	1m36
辻　冬樹	SJAC	35.北海道小学生	5年ｼﾞｬﾍﾞﾘｯｸﾎﾞｰﾙ	1位	43m90
小松　華生	ドリームAC	35.北海道小学生	5年ｼﾞｬﾍﾞﾘｯｸﾎﾞｰﾙ	2位	43m69
舛田　快理	簾舞小	札幌記録会1戦	4年ｼﾞｬﾍﾞﾘｯｸﾎﾞｰﾙ		39m96
佐野　琉星	簾舞小	58.札幌市民大会	4年ｼﾞｬﾍﾞﾘｯｸﾎﾞｰﾙ	1位	36m51
村岡　瑠斗	SJAC	28.川崎記念	3年ｼﾞｬﾍﾞﾘｯｸﾎﾞｰﾙ	1位	37m27
札幌JRC	江戸・齊藤・中村・西塚	35.北海道小学生	6年4×100mR	3位	54.33
新札幌陸ク	高木・溝延・早津・森江	35.北海道小学生	4年4×100mR	1位	1.00.63
TONDEN.RC	奥田・河津・小山・工藤	28.川崎記念	4年4×100mR	1位	58.30

■女子

氏　名	所　属	全国大会等での活躍	種目	順位	記録
工藤　瑠奈	柏中(2)	24.道中学新人	2年100m	3位	12.63(3.1)
粒見　綾	稲穂中(3)	5.札幌中学選手権	400m	1位	59.44
上西　彩未	新川中(1)	48.北海道中学	800m	1位	2.18.74
		24.道中学新人	800m	1位	2.18.59
		48.北海道中学	1500m	2位	4.44.18
		24.道中学新人	1500m	2位	4.47.43
吉野　瑠花	札幌中(3)	48.北海道中学	100mH	3位	14.75(-0.7)
鈴木　里沙	柏中(2)	24.道中学新人	100mH	1位	14.67(-0.4)
			四種競技	3位	2452点
上原麻友子	あいの里東中(2)	48.北海道中学	走高跳	2位	1m63
		24.道中学新人	走高跳	1位	1m57
早田百花子	栄中(2)	24.道中学新人	走高跳	2位	1m57
			四種競技	1位	2545点
水口　爽	青葉中(2)	24.道中学新人	走高跳	3位	1m51
工藤聖莉奈	稲穂中(3)	48.北海道中学	四種競技	1位	2801点
廣澤　未来	伏見中(3)	48.北海道中学	四種競技	3位	2592点
粒見　綾	稲穂中(3)	5.札幌中学選手権	400m	1位	59.44
稲穂中	本間・工藤・粒見・小澤	48.北海道中学	4×100mR	1位	49.70
柏中	鈴木・岡村・見澤・工藤	24.道中学新人	4×100mR	1位	51.20
稲穂中	小澤・本間・工藤・粒見	5.札幌中学選手権	100m+200m+300m+400mR	1位	2.24.41
あいの里東中	駅伝チーム	35.道中学駅伝	駅伝	1位	

盛田　侑鈴	TONDEN.RC	35.北海道小学生	6年100m	2位	13.68(-1.2)
		35.北海道小学生	6年80mH	1位	13.00(0.0)
前田　結奈	新札幌陸ク	35.北海道小学生	6年100m	3位	13.86(-1.2)
遠藤　萌生	新札幌陸ク	35.北海道小学生	3年100m	1位	15.73(1.2)
笠原　蓮花	TONDEN.RC	35.北海道小学生	6年800m	2位	2.31.40
		35.北海道小学生	6年走高跳	3位	1m25
始関　千華	SPAA	35.北海道小学生	6年800m	3位	2.32.34
岡　七葉	新札幌陸ク	35.北海道小学生	5年800m	3位	2.35.50
齊藤　百南	TONDEN.RC	35.北海道小学生	6年80mH	2位	13.19(0.0)
中條　紗菜	TONDEN.RC	35.北海道小学生	6年走高跳	2位	1m30
本濃　里乃	渡辺陸ク	35.北海道小学生	5年走高跳	1位	1m26
佐藤　葉空	AAA	35.北海道小学生	6年走幅跳	3位	4m56(0.9)
坂下　琉葉	手稲鉄北小	35.北海道小学生	5年走幅跳	1位	4m15(0.0)
神田　悠愛	TONDEN.RC	35.北海道小学生	4年走幅跳	2位	3m81(-0.7)
三盃　汐里	SPAA	28.川崎記念	6年ｼﾞｬﾍﾞﾘｯｸﾎﾞｰﾙ	1位	41m12
富樫　瑞乃	札幌JRC	35.北海道小学生	6年ｼﾞｬﾍﾞﾘｯｸﾎﾞｰﾙ	3位	38m72
高田　美咲	TONDEN.RC	札幌記録会1戦	5年ｼﾞｬﾍﾞﾘｯｸﾎﾞｰﾙ	1位	34m61
圓山　莉菜	チームC-3	35.北海道小学生	4年ｼﾞｬﾍﾞﾘｯｸﾎﾞｰﾙ	2位	33m74
高橋　理桜	真駒内桜山小	28.川崎記念	3年ｼﾞｬﾍﾞﾘｯｸﾎﾞｰﾙ	2位	19m94
TONDEN.RC	笠原・中条・盛田・千葉	35.北海道小学生	6年4×100mR	1位	54.96
TONDEN.RC	遠藤・中条・盛田・千葉	33.全国小学生	6年4×100mR	4位	53.29
新札幌陸ク	小林・高橋・熊木・前田	35.北海道小学生	6年4×100mR	2位	55.46
新札幌陸ク	飯田・谷田・遠藤・岩野	35.北海道小学生	4年4×100mR	3位	1.02.03

SAPPORO「選手強化育成基金」募金ご協賛について

「TOKYO 2020」の開催が決まり、56年ぶりに夏季オリンピックが日本で開催されることとなりました。1964年10月10日、昨日までの雨が止み、澄み渡る東京国立競技場の青空のもとで盛大に開催された開会式は、子供心に心躍らせ大きなインパクトと感動を与えてくれました。人種や宗教、歴史・文化を乗り越え、スポーツを通して一つになれる姿やトップ選手の躍動は鮮明に思い出として心をとらえて離れません。

「札幌から国際大会で活躍選手を」を目標に、未来を託す大勢の若者の活躍を願い、一般財団法人札幌陸上競技協会では、2020東京オリンピックに選手を輩出するために選手強化育成基金を計画しております。

つきましては、陸上競技を応援していただく企業をはじめ、陸上競技愛好者など多くの皆様のご理解とご支援が不可欠です、ＳＡＰＰＯＲＯ「選手強化育成基金」募金の趣旨をご理解いただき、多くの皆様方のご協力ご協賛をお願い申し上げます。

平成３０年４月吉日

実行委員長　品田　吉博（一般財団法人札幌陸上競技協会会長）
副実行委員長　正垣　雅規（学校法人産業技術学園理事）

SAPPORO「選手強化育成基金」

１　募金目標額
１０，０００，０００円

２　申込募金額
１年間
（１）団体　１口　５０，０００円
（２）個人　１口　　５，０００円
なるべく複数口をお願いします。４年間（２０１７～２０２０）の継続提供をお願いします。４年間分一括振り込んで頂いても結構です。

3　募金方法

下記の口座に振り込みでお願いいたします。

北洋銀行菊水支店

普通貯金　（口座番号）　０５１９１５６

（名義人）　SAPPORO「選手強化育成基金」募金実行委員会

ｻｯﾎﾟﾛ｢ｾﾝｼｭｷｮｳｶｲｸｾｲｷｷﾝ｣ﾎﾞｷﾝｼﾞｯｺｳｲｲﾝｶｲ

4　募金者特典

当協会主催・主管大会を観戦いただいた場合、プログラムをお渡しいたします。

5　強化対象者

次の選考基準の何れかを満たす一般財団法人札幌陸上競技協会登録者

（１）日本陸上競技選手権大会で優勝の可能性が認められる者

（２）日本記録（高校・学生記録を含む）達成の可能性が認められる者

6　指定解除条件

（１）札幌登録からの離脱

（２）怪我、故障によるプログラムからの離脱

7　募金の用途

（１）トップ選手の育成強化と援助助成

札幌陸協所属選手からオリンピック選手輩出を目指す。

（２）全国大会入賞可能選手への援助助成

強化練習会を企画し実施する。

（３）国内大会入賞選手への助成

札幌陸協所属選手で国民体育大会、日本選手権、全国学生・全国高校・全国中学選手権上位入賞者に助成する。

（４）全国大会出場者助成

札幌陸協所属の国民体育大会、全国都道府県男女駅伝大会、男女全国高校駅伝大会、男女全国中学駅伝大会出場者・チームに助成金を支給する。

（５）強化合宿助成

札幌陸協沖縄強化合宿、遠征に対して助成する。

（６）講習会等の実施

選手の競技力向上、指導者の資質向上、連携促進のための講習会を実施する。

8　SAPPORO「選手強化育成基金」募金実行委員会役員（発起人）

実行委員長	品　田　吉　博	（一般財団法人札幌陸上競技協会会長）
副実行委員長	正　垣　雅　規	（学校法人産業技術学園理事）
副実行委員長	恩　村　一　郎	（一般財団法人札幌陸上競技協会副会長）
副実行委員長	志　田　幸　雄	（一般財団法人札幌陸上競技協会副会長）
委　　員	中　村　宏　之	（北海道ハイテクアスリートクラブ代表）
委　　員	赤　松　幸　広	（一般財団法人札幌陸上競技協会常務理事（強化委員長））
監　　事	高　野　洋　史	（一般財団法人札幌陸上競技協会監事）
監　　事	里　村　美喜夫	（一般財団法人札幌陸上競技協会評議員）

9　２０１８強化指定候補者（主な戦歴）

＜男　　子＞		
馬場　友也（北海道ハイテクAC）　東海大学出身		
２０１６年	日本選手権	１００Ｍ　６位
	日中韓３カ国交流大会に日本代表として１００ｍ出場	
	全日本実業団	１００Ｍ　３位
２０１７年	日本選手権	１００Ｍ　準決勝
	国民体育大会	少年共通４×１００ＭＲ　第４走者　第５位
	南部記念陸上	１００Ｍ　１０秒３１（日本17傑）
田邊　ジョー(東京学芸大学)　立命館慶祥高出身		
２０１７年	高校総体	４００ＭＨ　３位　５１秒９２（高校９傑）
	全国高校選抜	３００Ｍ　４位
城山　正太郎(ゼンリン札幌)　東海大学出身		
２０１７年	デカネーションフランス大会	走幅跳　５位　７Ｍ４１
	国民体育大会	走幅跳　４位　７Ｍ５１
	アジア大会　日本選手権　走幅跳出場	
	自己ベスト　走幅跳　８Ｍ０１	

＜女　子＞			
京谷　萌子（北海道ハイテクＡＣ）北海道教育大学岩見沢校出身			
２０１３年	全日本学生	走高跳	１位
２０１４年	日本選手権	走高跳	５位
２０１５年	日本選手権	走高跳	７位
２０１６年	日本選手権	走高跳	１位
２０１７年	国民体育大会	走高跳	６位　１Ｍ７３（日本16傑）
島田　雪菜（北海道ハイテクＡＣ）福井県立敦賀高校出身			
２０１６年	高校総体	２００Ｍ	５位　４００ｍ　６位
	全日本ジュニア	１００Ｍ	３位　２００ｍ　２位
	国体	１００Ｍ	２位　４００ｍ　２位
２０１７年	日本選手権	２００Ｍ	７位　２３秒９７（日本７傑）
	日中韓三カ国	１００Ｍ	４位
臼井　文音（立命館慶祥高校）			
２０１７年	高校総体	２００Ｍ	２位
	国民体育大会	１００Ｍ	６位
	高体連札幌支部	１００Ｍ	１１秒９７（高校25傑）
	全道高校	２００Ｍ	２４秒６２（高校24傑）
吉田　梨諸（立命館慶祥高校）			
２０１７年	高校総体	走幅跳	３位
	国民体育大会	走幅跳	６位
	全道高校新人	走幅跳	５Ｍ９７　（高校10傑）
井越　朱梨（日本体育大学）恵庭北高校出身			
２０１７年	高校総体	２００Ｍ	５位
	Ｕ２０	２００Ｍ	５位
	南部記念	１００Ｍ	１１秒７９（日本29傑　高校５傑）
		２００Ｍ	２４秒０２（日本20傑　高校３傑）
御家瀬　緑（恵庭北高校）			
２０１７年	国民体育大会	少年女子Ｂ	１００Ｍ　１位
		少年女子Ｂ	走幅跳　１位
	Ｕ１８	１００ｍ	１位
	１００Ｍ　１１秒６６	（日本７傑　高校１傑）	
	走幅跳　６Ｍ００	（日本24傑　高校８傑）	
石堂　陽奈（立命館慶祥高校）			
２０１７年	全国中学	１００ｍ	１１秒９３　１位（中学４傑）
		走幅跳	５Ｍ８２　１位（中学４傑）
中山　璃子（恵庭北高校）			
２０１７年	全国中学	１００ｍＨ	１３秒６４　１位　（中学４傑）
	国民体育大会	少年女子Ｂ	１００ｍＨ　１３秒９１　５位
玉置菜々子（札幌啓成高校）			
２０１７年	高校新人支部	１００ｍＨ	１３秒７３（日本25傑　日本高校２傑）
芝田　愛花（恵庭南高校）			
２０１７年	高校新人支部	１００ｍＨ	１３秒９６（日本高校14傑）

10　２０１７年度ご協賛一覧（順不同にて掲載しております。）

《企業》

・株式会社北海道日刊スポーツ新聞社
・一般財団法人北海道歴史文化財団
・株式会社エステム
・株式会社Ｈａｒａｐｅｃｏ
・株式会社セコマ
・日本体育施設株式会社北海道営業所
・北海道ハイテクノロジー専門学校
・社会医療法人松田整形外科記念病院
・日本栄養食品株式会社
・アシックスジャパン株式会社
・株式会社ツルハ
・一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団
・株式会社アールビーズ
・株式会社北海道新聞社
・株式会社プロサポート物流
・奥アンツーカ株式会社東京支店
・株式会社アミノアップ化学
・六花亭製菓株式会社
・ホクレン農業協同組合連合会
・長谷川体育施設株式会社北海道支店
・北海道印刷企画株式会社

《個人》

・楯石英雄　・玉井清史　・志田幸雄　・志田光瑞　・薄昇　・山田亨　・藤石文平
・安岡行雄　・品田吉博　・斉藤一幸　・蓑嶋和央　・世良田弘治

１０年間競技力向上ビジョン(２０１５年～２０２５年)について

●一般財団法人札幌陸上競技協会の目標と現状（10年計画）

○小学生：底辺拡大 ○中学生：選手の基礎を育てる ○高校：専門指導、他競技からの発掘		13年度実績	14年度実績	15年度実績	16年度実績	17年度実績	18年度目標
				全国中学		基金募集	
マニュアル目標	全国中学大会	13（R1）	9（R2）	6(R1)	7（男6女1）	7（男3女4）	7(男3女4)
	全国高校大会	男(57)女(57)	男(57)女(63)	男(62)女(62)	男(46R6)女(31R6)	男(54)女(58)	男(60)女(60)
	日本インカレ	54	47	52	16	50	55
	日本選手権	4	5	1	7	7	10
	オリンピック・国際大会出場者	2	2	2	2	2	3
指導者養成	陸上フェスティバル	1	1	1	1	1	1
	指導者研修(トップレベル中・高・クラブ)	0	0	0	1	1	1
	公認コーチ指導者研修会	0	0	0	0	10	10
発掘	小学生陸上フェスティバル・記録会	4	5	2	2	2	2
	全国小学生陸上競技交流大会(入賞者)	男(1)	2（男女各1）	1（男1）	1(男1)	リレー1	リレー1
	小学生陸上教室	1	1	1	3	2	2
	小学生駅伝大会(ちびっ子)	1	1	1	1	1	1
育成	中学合同練習会	24	26	26	26	28	28
	種目別合同練習会	5	9	小1中2	8	小6	小6
	全体練習会	4	4	小2	5	6	6
強化	強化練習会	7	8	9	20	44	45
	強化合宿	8（沖縄1）	8（沖縄1）	6（沖縄1）	3（沖縄1）	6(沖縄1)	6(沖縄1)
	強化合宿(海外)	0	0	0	0	0	0
成績	全国小学生入賞者(延べ人数)	男(1)	2(男女各1)	1（男1）	0	リレー1	4(男女各2)
	全国中学生入賞者	男(3)	2(男女各1)	2（女2）	女(1)	2(女2)	4(女2)
	全国高校入賞者	男(5)	男(1)女(1)	1（男1）	男(3)女(1)	5(男1女4)	8(男2女6)
	国体入賞者	男(4)	男(2)女(2)	男(3)女(1)	男(4)女(1)	8(男2女6)	10(男2女8)
	インカレ入賞者	3	1	男1	男(1)	4(男3女1)	4(男3女1)
	日本選手権入賞者	男(1)女(1)	女(2)	男(1)	男(2)	7(男1女3)	5(男1女4)
	国際大会入賞者	2	男(2)	男1	0	男1女1	3

一般財団法人札幌陸上競技協会

２０１８年度　事業活動計画

専務理事　玉　井　清　史

2018年度の札幌陸協は道主催大会4（全道高校選手権、日中韓3ヵ国兼南部大会、北海道マラソン、全道高体連駅伝）をはじめ主催大会31大会と学連などの協力大会９合わせて44大会の事業を抱えている。これらをやり切るためには陸協会員の協力が必要で、とりわけ常務理事、理事が主体的に取り組まなければ成し遂げることができない。今年こそ、一般会員、高体連・中体連会員の垣根を超えた協力が必要です。

また、東京オリンピック、全国インターハイを見据えた強化や審判育成、審判技術の向上も図らなければなりません。昨年度の競技成績では多くの成果が上がっています。指導者の努力が一番ですが、強化委員会の合宿、強化練習会の成果の表れともいえます。昨年度から活動を始めたSAPPORO「選手強化育成基金」実行委員会の力もお借りして、札幌からオリンピック選手を輩出することさらに、全国インターハイを見据えた計画的な選手発掘・強化が必要です。

１　競技会事業について

①運営体制について

各競技会の担当総務は理事とし、総務員は必要な人材で構成し責任ある運営体制を作る。

②他行事や勤務などを考慮し、活動できる組織体制とする。

南部大会は高校の学校祭を考慮し、当日参加できる審判員で総務員を構成する。また、中学校顧問にも総務員、審判員をお願いしたい。北海道マラソンは中学新人大会と重なるので、高校の顧問の先生の協力が必要です。

③北海道陸協の派遣審判員（地方陸協）については、できるだけ若い中心的に活動する審判員の派遣を要請する。（特に日中韓3ヵ国対抗戦は国際大会となる）

④他団体の大会用機器使用料等について

札幌陸協主催事業以外の大会については､別に定める大会機器使用料を収めてもらう。又札幌陸橋登録以外の競技者についてはｱｽﾘｰﾄﾗﾝｷﾝｸﾞ使用料200円を納める。

⑤札幌選手権、ﾊｲﾃｸAC杯、日中韓南部大会は使用する。

通信陸上、高校新人戦、中学新人戦については協議する。

高体連、中体連主催事業については関係団体の申し入れとする。

⑥バックストレートゴールをできるだけ使用する。

写真判定員の増員、スターター、監察員等の増員が必要の場合があり、各担務で検討必要。

２　大会審判交通費について

①各競技大会は規定により支出するが、大会総務員等の早朝出動（グランド７時前・ロード６時以前）後かたずけで大会終了後１時間以上の場合は各１０００円を支払う。

３　広告、寄付金の募金について

審判会員、協賛企業を対象に寄付金を募集しています。

①会員寄付金

札幌陸協会員からの寄付金で、札幌陸協の事業全般に使用されます。

②大会協賛金

企業から大会の協賛金を募集します。

③SAPPORO「選手強化育成基金」

実行委員会が募金している募金で、札幌陸協会員から募金と、企業・団体の紹介について積極的な取り組みをお願いします。

４　９０周年事業について

①今年度実行委員会を立ち上げ、周年事業の内容、予算配分などを検討します。

実行委員会（案）

品田会長、志田副会長、蓑島副会長兼財務委員長、玉井専務理事、中村総務委員長

②９０周年記念誌

編集担当者は、３月末までに２０１２年～２０１６年をまとめ、USBメモリーで提出。

５　競技場施設の改善要求とコンピューター関係の整備

今年度も札幌市スポーツ局に対し、競技場施設用具の改善を求めます。

主なものは、Wi-Fiの整備（円山・厚別）バックストレートカメラの固定装置（厚別）補助競技場用具の更新、雨天時練習場の確保等

事　業
１　総　務
（１）　２０１８年　総務方針
　ア　時代の進展に対応する陸上競技協会のあり方を追求するとともに、会員同士の相互理解を図り、信頼関係と協働体制の確立を図る。
　イ　地域や各団体等との連携・協力を深め、魅力ある陸上競技協会づくりを目指す。
　ウ　各専門委員会や関係各位と連携して、選手強化や普及に努める。
　　また、創意工夫を凝らした魅力ある競技会づくりの推進を図る。
　エ　９０周年事業の推進

（２）　円山・厚別陸上競技場及び「つどーむ」トレーナー活動の推進
　ア　トレーナーの適切な配置と公正な割り当て。
　イ　円山・厚別競技場・「つどーむ」とのコミュニケーションを深め、トレーナー活動の活性化に役立てる。

（３）　登録事業
　ア　会員登録申請
　　公認審判員・競技者の登録申請について資格審査を行い、北海道陸上競技協会へ適格者の登録申請を行う。
　イ　刊行物あっせん事業
　　競技会運営に必要な刊行物のあっせんを行い、競技規則の周知を図る。

２　競技会開催事業（競技委員会事業計画（案））　別紙第１
・２０１８年度　札幌陸上競技協会　主要競技会日程表（案）
・２０１８年度　主催大会　競技種目（案）

３　選手強化事業（強化委員会事業計画）　別紙第２

４　普及事業
・普及委員会事業計画　別紙第３

５　記録・情報・広報事業
・記録委員会事業計画　別紙第４
・情報委員会事業計画　別紙第５
・広報委員会事業計画　別紙第６

６　指導者審判養成事業
・審判委員会事業計画　別紙第７

７　施設関連事業
・施設委員会事業計画　別紙第８

８　栄章事業
規約細則 第６章 「栄章規程」に基づく栄章の実施

９　選手派遣・役員派遣事業
・第５２回青梅マラソンの派遣
※２０１８年２月１８日（日）
※協会派遣役員　：　恩村一郎副会長、玉井清史専務理事
※派遣役員　　：　井上智雄普及委員長（選手団長）
※２０１７年度第４回理事会（２０１７年１１月８日実施）で承認受け済み。
・グアム・ココ・ロードレース大会への派遣
・第１８回全国障がい者スポーツ大会への派遣

10　その他

「別紙第１」

２０１８年度　一般財団法人札幌陸上競技協会　主要競技会　日程表

月	日(曜日)	大　　会　　名	会場	大　　会　　名	会場
3	１８（日）			平成30年度札幌市室内陸上競技大会	つどーむ
	２１（土）	審判講習会	厚別		
	２１（土）	審判研修会	厚別		
	３０（祝）	札幌中学記録会　第1戦	厚別	北海道学連競技会第2戦	円山
5	３（木・祝）			札幌記録会　第１戦	円山
	４（金・祝）			札幌記録会　第２戦	円山
	５（土・祝）			第３０回日刊スポーツ豊平川マラソン	真駒内
	６（日）			ＥＭＰＥＰＯＲ　ＣＵＰ	円山
	１２（土）～１３（日）	第31回高体連札幌支部春季陸上競技大会	厚別		
	１９（土）	学連競技会　第3戦	厚別		
	１９（土）～２０（日）			第47回春季札幌中学陸上競技大会	円山
	２２（火）～２５（金）	第71回高体連札幌支部陸上競技大会	厚別		円山
6	１（金）～３（日）	第70回北海道学生陸上競技対抗選手権大会	厚別		円山
	３（日）			第18回札幌市障がい者スポーツ大会	円山
	９（土）			第34回札幌小学生陸上競技大会兼記録会	円山
	１０（日）			北日本医科大学陸上競技対校戦	円山
	１２（火）～１５（金）	北海道高等学校陸上競技対校選手権大会	厚別		
	１７（日）			札幌記録会　第３戦	円山
	２３（土）～２４（日）	第64回全日本中学通信陸上競技札幌大会	厚別		
	３０（土）	第71回札幌市中体連陸上競技選手権大会	厚別		
7	７（土）			学連中長距離記録会兼全国大学駅伝選考大会(午後)	円山
	８（日）	日中韓３カ国対抗兼第３１回南部忠平記念陸上競技大会	厚別		
	１４（土）			札幌中学記録会　第２戦	円山
	１５（日）				円山
	２１（土）～２２（日）			第83回札幌陸上競技選手権大会	円山
	２８（土）～２９（日）	国立7大学対校陸上競技大会	厚別		円山
	7/31(火)～8/１(水)			第6回札幌中学陸上競技選手権大会	円山
8	４（土）			小学生陸上教室兼記録会	円山
	１８			北海道大学駅伝対校選手権大会(男29回、女23回)	モエレ沼公園
	１８（土）～１９（日）	第50回高体連札幌支部新人陸上競技大会	厚別		
	２４（金）			札幌市立高校総合文化祭体育大会	円山
	２５（土）～２６（日）			第47回札幌市中体連陸上競技新人大会	円山
	２６（日）			はまなす車いすマラソン2018・北海道マラソン2018	札幌大通
9	８（土）			第29回川崎静一郎記念陸上競技大会	円山
	９（日）			札幌中学ﾛｰﾄﾞﾚｰｽ兼駅伝選考会	真駒内
	２２（土）～２３（日）			第47回北海道学生陸上競技選手権大会	円山
	２９（土）			第59回札幌市民体育大会陸上競技大会	円山
	３０（日）	第6回北海道ハイテクAC杯陸上競技選手権大会	厚別		

10	６（土）			北海道学連競技会第３戦兼第13回スプリントトライアスロン	円山
	７（日）			第43回札幌マラソン	真駒内
	１２（金）			第71回北海道高等学校男子駅伝大会　第34回北海道高等学校女子駅伝大会	真駒内~豊平川
11	３（祝）	第６回ちびっこ駅伝大会	厚別		
12	２３（日）			第9回札幌市小学生陸上競技クリニック	北海道ハイテクインドア
3	2019/3/16			平成31年度札幌市室内陸上クリニック	つどーむ
	2019/3/17			平成31年度札幌市室内陸上競技大会	つどーむ

２０１８年度主催大会　競技種目

競技委員会

※実施種目は下記を原則とするが、担当総務・担務が最終的に調整の上、決定する。
※学年別カテゴリー等、詳細は、各競技会担当総務が作成する大会要項によるものとする。

札幌市室内陸上競技大会（３月１８日）
６０ｍ・３００ｍ・８００ｍ（小）・１５００ｍ・３０００ｍ・６０ｍＨ（中）
走高跳・砲丸投・ジャベリックボール投

札幌中学記録会（４月３０日）
１００ｍ・２００ｍ・８００ｍ・１５００ｍ・１１０ｍＨ・１００ｍＨ
４×１００ｍＲ・走高跳・棒高跳（男）・走幅跳・砲丸投

札幌記録会第１戦（小学・高校・一般対象　５月３日）
１００ｍ・２００ｍ・８００ｍ・１５００ｍ（小）・５０００ｍ・８０ｍＨ（小）
１１０ｍＨ・１００ｍＨ・５０００ｍＷ・４×１００ｍＲ
走高跳・走幅跳・ハンマー投・やり投・ジャベリックボール投（小）

札幌記録会第２戦（中学・高校・一般対象　５月４日）
１００ｍ・４００ｍ・１５００ｍ（高一）・３０００ｍ・１１０ｍＨ（中）
１００ｍＨ（中）・４００ｍＨ
走高跳（中）・棒高跳・走幅跳（中）・三段跳・砲丸投・円盤投

高体連札幌支部春季陸上競技大会（５月１２日・１３日）
１００ｍ・２００ｍ・４００ｍ・８００ｍ・１５００ｍ・３０００ｍ（女）
５０００ｍ（男）・３０００ｍＳＣ・１１０ｍＨ・１００ｍＨ・４００ｍＨ
５０００ｍＷ・４×１００ｍＲ・４×４００ｍＲ・走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳
砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投

春季札幌中学陸上競技大会（５月１９日・２０日）
１００ｍ・２００ｍ・４００ｍ・８００ｍ・１５００ｍ・３０００ｍ（男）
１１０ｍＨ・１００ｍＨ・４×１００ｍＲ
走高跳・棒高跳（男）・走幅跳・砲丸投・円盤投・四種競技

札幌小学生陸上競技大会　兼　中学生記録会（６月９日）
（小）１００ｍ・８００ｍ・１５００ｍ・８０ｍＨ・４×１００ｍＲ
走高跳・走幅跳・砲丸投・ジャベリックボール投
（中）４×１００ｍＲ・走高跳・棒高跳（男）・砲丸投

札幌記録会第３戦（国体実施種目　中学・高校・一般対象　６月１７日）
男子　１００ｍ・４００ｍ（高一）・８００ｍ・３０００ｍ・５０００ｍ（高）
１１０ｍＨ（高一）・４００ｍＨ（高一）・５０００ｍＷ・
走高跳・棒高跳（高）・走幅跳・三段跳（高）・砲丸投（中高）
円盤投・ハンマー投（高）・やり投（高一）
女子　１００ｍ・４００ｍ（高一）・８００ｍ・１５００ｍ（中高）・３０００ｍ㈱
５０００ｍ（一）・１００ｍＨ・４００ｍＨ（高）・５０００ｍＷ・
走高跳（高一）・棒高跳・走幅跳（中高）・三段跳（高一）・砲丸投（中高）
円盤投（中高）・ハンマー投（一）・やり投（高一）

中学記録会（中学・高校・一般対象　７月１４日）　※１人３種目まで
１００ｍ・２００ｍ・４００ｍ・８００ｍ・１５００ｍ・３０００ｍ（女）
５０００ｍ（男）・１１０ｍＨ・１００ｍＨ・４００ｍＨ
走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投

札幌陸上競技選手権大会（７月２１日・２２日）
１００ｍ・２００ｍ・４００ｍ・８００ｍ・１５００ｍ・３０００ｍ㈫・５０００ｍ
１１０ｍＨ・１００ｍＨ・４００ｍＨ・３０００ｍＳＣ（男）・５０００ｍＷ
４×１００ｍＲ・４×４００ｍＲ
走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投

札幌市中学陸上競技選手権大会（７月３１日・８月１日）
１００ｍ・２００ｍ・４００ｍ・８００ｍ・１５００ｍ・３０００ｍ・１１０ｍＨ・
１００ｍＨ・４×１００ｍＲ・メドレーＲ（100m+200m+300m+400m）・
走高跳・棒高跳（男）・走幅跳・砲丸投・円盤投・ジャベリックボール投

札幌小学生陸上教室　兼　中学生記録会（８月４日）
（小）８０ｍ・１００ｍ・８００ｍ・１５００ｍ（男）・８０ｍＨ
走高跳・走幅跳・ジャベリックボール投
（中）４×４００ｍＲ・４×１５００ｍＲ（男）・４×８００ｍＲ（女）

高体連札幌支部新人陸上競技大会（８月１８日・１９日）
１００ｍ・２００ｍ・４００ｍ・８００ｍ・１５００ｍ・３０００ｍ（女）
５０００ｍ（男）・１１０ｍＨ・１００ｍＨ・４００ｍＨ・３０００ｍＳＣ（男）
５０００ｍＷ・４×１００ｍＲ・４×４００ｍＲ
走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投

札幌中体連陸上競技新人大会（８月２５日・２６日）
１００ｍ・２００ｍ・４００ｍ・８００ｍ・１５００ｍ・３０００ｍ・１１０ｍＨ
１００ｍＨ・４×１００ｍＲ・走高跳・棒高跳（男）・走幅跳・砲丸投・四種競技

川崎静一郎記念陸上競技大会（９月８日）
１００ｍ・８００ｍ・１５００ｍ（男）・８０ｍＨ・４×１００ｍＲ
走幅跳・ジャベリックボール投

札幌市民体育大会陸上競技大会（９月２９日）
１００ｍ・４００ｍ・８００ｍ・１５００ｍ（小）・３０００ｍ
４×１００ｍＲ・メドレーＲ（100m+200m+300m+400m）
走高跳・走幅跳・砲丸投・ジャベリックボール投（小）

北海道ハイテクＡＣ杯陸上競技選手権大会（９月３０日）
小学校（男女）１００ｍ・２００ｍ・４００ｍ・４×１００ｍＲ・１１０ｍＨ（男子）
中学校（男女）１００ｍ・２００ｍ・４００ｍ・４×１００ｍＲ
１１０ｍＨ（男子）・１００ｍＨ（女子）・走幅跳・砲丸投
高校・一般（男女）１００ｍ・２００ｍ・４００ｍ・４×１００ｍＲ
１１０ｍＨ（男子）・１００ｍＨ（女子）・走幅跳・砲丸投
マスターズ（男女）１００ｍ・４００ｍ・走高跳・砲丸投

「別紙第２」

選手強化事業

２０１８年度　強化委員会事業計画

高校
１　強化合宿
①　1月５日（金）～１１日（木）　那覇市　コーチ７名、強化選手２８名
②　３月下旬　中長距離合宿
③１１月下旬　Ｕ１９北海道地区合宿

中学

１　強化合宿
　①　１月　７日（日）～　８日（月）札幌市　コーチ４名　強化選手２６名
　①　３月２６日（日）～２８日（火）函館市　コーチ５名、強化選手３０名
　②　９月、１０月　駅伝試走日帰り　未　定　コーチ２名、駅伝試走　選手１５名

２　強化練習会
【種目別練習会】
　・短距離　　１月～３月、１２月：月２回程度実施
　・中長距離　　１月～４月、７月、１１月、１２月：月１～３回程度実施
　・跳躍　　１月～３月、８月、１１月～１２月：月１～３回程度実施
　・投てき　　１月～３月、８月、１１月～１２月：月１～３回程度実施
【全体練習会】
　・全種目　　８月日上旬（厚別）予定

指導者講習会

１　12月中旬予定

「別紙第３」

普及事業

２０１８年度　普及委員会事業計画

１　２０１８年度事業計画

① 室内陸上クリニック（3月17日：つどーむ）
② 駅伝練習会（4月21日：真駒内）
③ 小学陸上兼中学記録会（6月9日：円山）第1回普及委員会
④ 全道小学大会出場者合同練習会（7月1日：円山）
⑤ 南部忠平陸上札幌選抜リレー練習会（7月7日：厚別）
⑥ 南部忠平陸上（7月8日：厚別）
⑦ 全道小学生大会（7月15、16日：函館）
⑧ 小学陸上教室兼中学記録会（8月4日：円山）
⑨ 全国小学交流大会（8月18日：日産スタジアム）
⑩ 川崎記念陸上（9月8日：円山）第2回普及委員会
⑪ 札幌中学駅伝（9月9日：真駒内）
⑫ 市民大会（9月29日：円山）
⑬ 北海道中学駅伝（10月7日：新得）
⑭ 北海道ちびっこ駅伝（11月3日：厚別）
第3回普及委員会（年度反省・次年度計画）

「別紙第４・５」

記録・情報・広報事業

２０１８年度　情報委員会事業計画

１　アスリートランキングのアカウント
　６万アカウントで契約する（2017年度と同じ）

	期日	競技会名	アカウント数	会場
1	2017/3/19	室内陸上	2,051	つどーむ
2	2017/4/29	札幌中学記録会	1,765	札幌厚別
3	2017/5/3	札幌記録会１	1,883	札幌円山
4	2017/5/4	札幌記録会２	1,730	札幌円山
5	2017/5/12-14	北海道インカレ	928	札幌厚別
6	2017/5/13-14	第30回　高体連春季	2,393	札幌円山
7	2017/5/20-21	第46回　春季札幌中学	3,036	札幌円山
8	2017/5/23-26	第70回　高体連支部	4,873	札幌厚別
9	2017/6/10	第33回　小学陸上	1,056	札幌円山
10	2017/6/18	札幌記録会３	1,349	札幌円山
11	2017/6/24-25	第63回　通信陸上札幌	1,332	札幌厚別
12	2017/7/1-2	第70回　中体連	2,683	札幌円山
13	2017/7/9	第30回 南部大会	690	札幌厚別
14	2017/7/23	札幌記録会４	1,621	札幌円山
15	2017/8/2-3	第５回　札幌中学選手権	3,231	札幌円山
16	2017/8/5	陸上教室	232	札幌円山
17	2017/8/19-20	第49回　高体連新人戦	2,651	札幌厚別
18	2017/8/26-27	第46回　中体連新人戦	2,685	札幌円山
19	2017/9/10	ハイテクAC杯	745	札幌厚別
20	2017/9/13-15	第33回　北海道高校新人戦	3,280	札幌厚別
21	2017/9/16-17	北海道学生CH	185	札幌円山
22	2017/9/23-24	第82回　札幌選手権	2,572	札幌厚別
23	2017/10/7	第28回　川崎記念	1,168	札幌厚別
24	2017/10/8	第58回　札幌市民体育大会	760	札幌円山
		計	44,899	

２　購入計画
情報機器を毎年更新していく

「別紙第６」

２０１８年度　広報委員会事業計画

１　ホームページ管理・運用
（１）ホームページの小変更（背景・画像）
（２）ホームページの更新作業
（３）ホームページのデータ整理（過去データ削除）

ホームページ管理について

１　委託会社
株式会社エーセブン　※社名変更
札幌市中央区北2条東3丁目　札幌セントラルビル2F
TEL （011）200－9501（代） FAX （011）200－9502
URL https://www.a-seven.jp/　E-mail web@a-seven.jp

２　ＨＰ掲載方法について
（１）大会関係（要項・タイムテーブル・競技注意事項・記録・大会案内等）
①　北海道印刷企画プログラム作成依頼
大会総務より北海道印刷企画取締役営業部長へ連絡し、ＨＰに掲載依頼する。
②　その他の大会（※北海道印刷企画以外のプログラム作成の場合）
大会総務よりエーセブン担当者へ連絡し、ＨＰに掲載依頼する。
（２）大会関係以外
広報委員長に担当部署より依頼し、広報委員長から専務理事又は副専務理事に承諾を得てから、エーセブン担当者へ連絡し、掲載する。
（３）その他
緊急性の高い内容については、会長・専務理事・副専務理事・総務委員長・事務員より直接、エーセブン担当者へ連絡し、掲載することも可能とする。

※(1)(2)(3)以外の方法から委託関係会社へ連絡を行っても掲載はしませんので、ご注意ください。

3　広報「札幌陸協情報」発行
（１）通算第１０号発行（２０１８年４月発行予定　第１号）
（２）通算第１１号発行（２０１８年11月発行予定　第２号）

4　報道機関との連携
（１）新聞・雑誌等への情報提供及び掲載依頼

5　他の陸上競技団体との連携（情報交換）

「別紙第７」

指導者審判養成事業

２０１８年度　審判委員会事業計画

1　重視事項
（１）各競技会の審判員の確保に努める。
（２）審判講習会、研修会を通して競技規則の伝達と審判技術の向上を図る。
（３）若手審判員の育成と競技会参加率の向上を図るとともに、特殊技術を要する審判員の養成をはかる。
（４）審判員の昇格に関わる意識の向上と積極的な昇格申請手続きを推奨する。審判候補対象の新規開拓をする。

2　主要項目
（１）審判講習会、研修会予定
○３月１１日（日）　日本陸連競技規則伝達講習会、北海道陸協審判講習会
○４月２１日（土）　2018年度審判講習会（厚別）
○４月２１日（土）　〃　審判研修会（〃）
○８月１８日（土）　高校B級取得希望者説明会（高校新人戦実施日）
○９月　昇格・取得申請受付
※学連主催の審判講習会を支援する。
○審判用ﾎﾟﾛｼｬﾂの斡旋（総務委員会に協力）
（２）各大会審判編成
○各大会審判編成の作成する。
審判委員会で審判希望者名簿→　各大会坦務、→　総務→審判委嘱
○アスリートランキングに協力審判記載の徹底。
（３）競技規則の研究
○競技規則の修・改正等について審判講習会で速やかに伝達する。この際、必要な解説書等を作成配布する。
○競技規則の理解、運用のためルールブック、ハンドブックの購入を推奨する。
○競技規則習得普及及び審判技術向上のため、研修会を実施する。
（４）　競技会出席希望調査の実施
○競技役員の出欠調査を３回（前期3月、中期6月、後期8月）実施し、競技運営が円滑に実施できるよう努める。若手審判員の出席率向上を目指して工夫する。
○全体的な返信率の向上をはかる。
学連、普及が担務の大会で、審判が不足している。中体連、高体連を含めた協力を要請する。
○アスリートランキングの協力審判に記載しても、審判希望で返信して頂く。
○理事は主要競技会審判を積極的に取り組む。
（５）審判用品の斡旋
○ポロシャツその他審判に関わる物品等を総務委員会と協力して斡旋する。

3　審判昇格候補者の推薦
（１）昇格該当者を把握し、対象者には積極的に書類を提出させる。
（２）高校Ｂ級希望者に、説明会を実施し各校から推薦されたものを道陸協に申請する。
（３）学連と協力し、学連審判からスムーズに移行できる環境を作る。
（４）専門学校生の審判員養成に努める

4　その他
（1）部門別の審判研修会開催を積極的に援助する。
（2）審判委員会は必要に応じて都度開催する。
（3）審判委員会からの情報提供、配布物等は講習会、研修会、競技会を通じてその都度行う。
（4）審判員出席率向上のため、年間を通じて広報活動に努める。
　○ホームページの活用
（5）審判旅費の増額を要請する。

「別紙第８」

2018年度　施設委員会事業計画

1　施設用器具点検
　厚別、円山競技場　・施設用器具点検（３月）
　・腰№カード、長距離№カード点検
　点検結果、競技場管理者へ改善申し入れ（４月）

2　ロード競技点検
（1）４月　日刊スポーツ豊平川マラソンコース点検
（2）７月　北海道マラソン、車いすマラソンコース点検
（3）９月　札幌マラソンコース点検
　特に車いすマラソンコースについては、点検結果をふまえ、コースの改善を札幌市に要望する。

3　札幌市スポーツ局部に要望書を提出（８月）
　７月中旬までに競技会担当総務から、厚別・円山両競技場の施設、用器具の施設補充、整備に対する要望をとりまとめ、要望書を提出する。

4　昨年度、札幌市から回答のあった事項について確認する。
（1）厚別の延長助走路については、円山の助走路を厚別に管理替え可能である。
（2）バックストレートのカメラについては、スタンドに設置可能か検討する。
（3）Wi-Fi については検討中である。

2018年度　財務委員会事業計画

1　２０１８年度事業計画収支予算（案）について（別添　資料札幌陸協保管）
　※会計関係資料は、札幌陸協事務所にて情報開示しております。

グアムココロードレース派遣報告

常務理事（施設委員長）　安岡　行雄

1　派遣日時　　２０１７年１０月２７日（金）～３０日（月）
2　大会日時　　２０１７年１０月２９日（日）午前４時スタート
3　派遣団　　選手団長　　安岡　行雄
　　選手　斉藤　敏美（清里町）
　　１時間３１分２８秒（男子グランド・マスター　第１位）
　　川村　　綾（チーム凡人）
　　１時間４０分００秒（女子オープン　第2位）
　　同行者　日刊スポーツ社　　宮崎　仁志　氏

日刊スポーツ豊平川マラソンと姉妹提携しているグアムココロードレースは、毎年相互交流しており今年度は、日刊スポーツ豊平川マラソンの道内男女上位２名を派遣した。

ユナイテッド航空の支援もあり、出発は金曜日の午後１２時千歳発、グアム１８時着で、初日は移動日となる。

翌土曜日にグアム政府観光局を表敬訪問し、副局長のアントニオ“トニー”ムニャ・ジュニア氏以下６名のスタッフと交流し、姉妹提携の継続を確認した。その後、スタート、ゴール地点やコースを確認し、選手の調整を見守った。

大会当日は、スタートが午前４時であることから、午前２時００分にはホテルを出発し、今年から新コースのゴール・スタート地点であるチャモロ・ビレッジ（読売巨人軍のグアムキャンプ球場公園）に集結した。

大会は、ハーフマラソンに６０５名（うち日本人は１９５名の参加）、全体では２００６名の参加で盛会裏に開催された。

男子　斉藤選手は、６０歳代で１位、男子全体で１４位、女子　川村選手は、２０歳代２位女子全体で７位の好成績を収めた。

毎年競技途中スコールに見舞われるそうであるが、今年はスコールもなく無事に大会が終了した。大会終了後には大雨に見舞われた。

選手団も大会での反省や今後について語り合い、一層の健闘を誓い合った。

５月開催の日刊スポーツ豊平川マラソンでは、ココロードレースを紹介し、両大会の発展を目指したい。

今回の派遣でお世話になった日刊スポーツ社　宮崎　仁志　氏、並びに協賛いただいたユナイテッド航空に対し心よりお礼申し上げ報告と致します。

豊平川マラソンから派遣

グアムココハーフ
斉藤さん金 川村さん銀

日刊スポーツ豊平川マラソンが姉妹提携している「グアム ココハーフマラソン」が29日、グアム・ハガニアから西海岸を走るコースで開催され、豊平川マラソンから派遣された男女各1人が出場した。

ハーフマラソン男子グランドマスター60歳代に出場した斉藤敏美さん(63)は、1時間31分28秒で1位になり「最高の気分。さざ波の音を聞きながら落ち着いて走ることができた」。同女子オープン20歳代の川村綾さん(26)は1時間48分0秒で2位に入り「レース中に見上げたきれいな星空が印象的だった。楽しかった」と笑顔で振り返った。札幌陸上競技協会常務理事でグアムココハーフマラソン派遣選手団の安岡行雄団長(68)は「日々の自己管理と訓練のおかげで実力以上の結果が出た」と、2人の好成績を喜んだ。同選手団は30日に帰国した。

好成績を収めた川村さん(中)と斉藤さん(左)

日刊スポーツ

Guam Visitors Bureau
Setbision Bisitan Guahan

（日刊スポーツ新聞社様社ご提供）

第１７回全国障がい者スポーツ大会（愛顔つなぐえひめ大会）参加報告

理事　早崎　　勝

１　派遣日時　２０１７年１０月２６日（木）～１０月３１日（火）
２　大会日時　２０１７年１０月２８日（土）～１０月３０日（月）
３　会　　場　愛媛県総合運動公園陸上競技場（ニンジニアスタジアム）
　　愛媛県松山市上野町乙４６地
４　派遣役員（陸上コーチ）　早崎　　勝、川上　重子

今回、札幌市の陸上競技関係の選手団は団長を含む役員６名、コーチ５名、介助員３名と、選手１３名に（身体６名）（知的７名）総数２７名で編成された。
大会中の天気は台風２２号の影響により開会式から雨が降り、二日目は風雨が強く、悪いコンディションの中でおこなわれた。
選手の移動については、宿舎が松山市道後多幸町７－２６にホテルがあるため愛媛県総合公園陸上競技場まで、送迎バスで片道５０分程度を要し、選手のアップ時間・点呼時間にあわせるためには、宿舎を６時２０分に出掛ければ良い状態であった。また、１７時から始まる種目もあり、競技終了時間が遅く、宿に戻るのも１９時３０分過ぎる事もあったと思う。このような日程でありながら、身体の不調を訴える選手も無く、よく頑張ったと思います。
選手の３位以内入賞種目については、トラック競技１０種目、フィールド競技４種目の合計１４種目で、札幌市選手団としては事前の練習が不十分な中、１４名の入賞者が誕生したことは価値ある大会であったと思います。また、これが来年度参加する選手の励みになればと思います。
日常の練習は「知的」の選手は指定事業所陸上クラブに所属している者もおり、毎週金曜の夜７時から９時まで練習ができるのでかなり効果的であったと思います。それに比較して「身体」の選手は、中学生もおりそれぞれ仕事を持っている関係上、時間もとれず、まとまって練習する機会もなく、個々に集まり４回の練習、選手個人の自主練習に頼るしかない状態であった。また、遠征前の「知的･身体」の合同練習も２回しかとれず十分とは言えなかった。
最後に２０１８年第１８回大会は福井県で開催されるので、宿泊場所により選手の移動時間も少なく、天候に恵まれれば 疲労の度合いが軽減されると思います。

ジュニアオリンピック視察報告（大型映像装置の視察）

常務理事（情報委員長）　斎藤　一幸

１　視察員　斉藤一幸（情報委員長）・町　悠太郎（情報委員）
２　期　日　2017年10月27日(金)～29日(日)
３　場　所　日産スタジアム（第48回ジュニアオリンピック）
４　目　的　大型映像装置の効率的な運用
５　はじめに
厚別競技場に大型映像装置が設置されて、３シーズンが過ぎた。業務にも慣れてきたが。より効率的な運用方法を見学したいと考えた。そこで、全国レベルの大会を毎年行っている日産スタジアムの”ジュニアオリンピック”に派遣することを急遽決定した。
日産スタジアムはスタート側とゴール側に２機の大型映像装置が設置され、スタート側が主に文字関係（スタートリスト、リザルト）、ゴール側が動画（ビデオ）で運用している。アナウンスとの連携を含めて視察した。

日産スタジアム

６　大型映像関係の担当人数
・大型映像装置担当者　５名（実際には２名で運用）
・ビデオカメラ担当　９名（外部）
・アナウンサー　11名
大型映像装置を担当している方はスタートリスト、リザルト、トップ８など、文字関係で、ビデオカメラ担当は、外部の方が行っていた。５名。

大型映像装置操作室

アナウンサー室に進行担当総務員がいて、インカムを使って指示を出していた。アナウンス室はスタンドの最上部にあり、競技全体を見渡すことができる。進行担当総務員権限は大きく、写真判定・情報処理・大型映像・アナウンスを統括していた。

７　その他の分担

・トラック審判長がインカムで「OK」のサインを出していた。

・フィールドは現地入力情報処理は賞状印刷を担当していた。紙でのプリントアウトは多くない（掲示には必要）。番組編成は１人で行っていた。本協会では、“ディレクター”という名称で大型映像・アナウンスの進行の統括を行っているが、ルール上では“ディレクター”は別の業務を担当するものである。「進行　担当総務員」とするべきである。

アナウンスルーム

情報処理室

８　終わりに

急遽決めた視察であったが、日本陸連側にも手続きを済ませていたので、トラブルもなく視察することができた。

ジュニアオリンピックの大型映像装置の運営を視察して感じたのは、進行担当総務員の権限の強さであった。あるときは競技を中断しても、表彰など進める力量であった。本協会でも、見ている人にわかりやすい競技運営を目指すべきではないかと感じた。今後、講習会や研修会などを通して視察内容をお知らせしていきたい。視察を了承していただき会長、専務理事をはじめ理事の皆様には感謝している。

平成２９年度　札幌市民スポーツ賞

副会長　澤　田　義　盛　氏　受賞

平成３０年２月１４日、ホテルライフォート札幌にて平成２９年度札幌市民スポーツ賞贈呈式が行われました。当協会の副会長である澤田義盛氏がスポーツの振興に付与した方として、札幌市民スポーツ賞を受賞されましたので、ご報告いたします。

（受賞理由）

昭和56年から札幌陸上競技協会の理事・監事を歴任し、札幌市で開催される全国大会開催時に施設設備の責任者として大会を成功に導くとともに、平成29年からは副会長を務められ陸上競技の発展にご尽力されました。

また、北海道マラソンや札幌マラソンの運営にも力を注ぎ、市民マラソンの発展に大きく貢献するなど、札幌市のスポーツ振興に大きな功績があった。

（経歴）

昭和56年～平成22年　札幌陸上競技協会　理事
平成26年～平成28年　札幌陸上競技協会　監事
平成29年～現在　札幌陸上競技協会　副会長

（賞）

平成８年　札幌陸上競技協会　功労賞
平成17年　日本陸上競技連盟　秩父宮賞
平成21年　北海道陸上競技協会　功労賞
平成24年　日本学生陸上競技連合　功労賞

発行　一般財団法人札幌陸上競技協会
広　報　委　員　会
〒064-0931　札幌市中央区中島公園1番5号
札幌市中島体育センター内
電話・FAX　：(011)532-2471
http://jaaf-sapporo.jp/